

穴生学舎かわら版

2013 穴生学舎

コース紹介号

暮らしと環境

理科の実験のような授業も

現在問題となっている、地球環境や北九州市の環境の現状と取り組み、エネルギー問題、また暮らしにかかわる理科の実験のような楽しい授業や水環境と蛍の一生など、興味津々に学んでいる。「学舎生活を明るく笑顔で」をモットーに、協調性と協力で皆さん楽しく学んでおり、学習したことを生かして、少しでも環境がより良くなるように役立てていきたいと、私たちは考えている。



目を輝かせて講師の話に聞き入る研修生達

実用書道

陽気で明るい少数精鋭コース

男性7・女性6、合わせて13名の陽気で明るい少数精鋭(?)コースです。講師は、笑顔の素適な師村華香先生。男性陣のマドンナの存在で、実習日の毎週月曜が待ち遠しいほどです。ある時は厳しく、ある時は優しく…褒め殺しとも思えるほどのほめ上手で、皆のやる気を引き出してくれます。入学以来、墨のすり方や筆の握り方から書き方、ペン字・大筆・小筆と書道の初歩からご指導いただき、面白味もわいてきた今日この頃です。これから「大学祭」に出品する作品作りに、全員一丸で頑張っ参ります。



師村先生(立っている人)のアドバイスを聞く

健康づくりサポーター

雑学満載、池川先生の講座

激しいスポーツは手に余るが、それでもスポーツとは縁を切りたくない人たちの集団。皆若く(心が?)明るい人ばかりで座学でも実技でも和気あいあい。ニュースポーツのビーチボールでは珍プレーも好プレーもありで、笑ったり拍手喝采だったり、まるで幼稚園の運動会。名物講師・池川先生の講義は、毎回笑い声が絶えず雑学満載で、楽しく学べる。例えば「歩きやすい靴ひもの結び方」を習った時など、目からウロコ…の思い。身も心も若返るのが、このコースの特徴だろう。



実技指導をする池川先生(右端)

歴史に学ぶ

地元でも知られていない情報も

講義で「歴史に何を学ぶか」と問われて『過去における生き方に学ぶ・立ち位置を認識する・未来を見通す力を養う』と学習した。授業も、長崎街道黒崎宿・秋月の乱・小笠原藩御家騒動・吉田松陰の生涯・会津士魂と婦女子道等の内容は、地元でも知られていない情報も多く、興味が尽きない。テーマ別の経験豊かで熱心な講師に感謝するとともに、後期の講義を楽しみにしている。



竹川先生(中央長身の人)と黒崎宿曲里の松並木を散策